

MAMプロジェクト010: テレルヴォ・カルレイネン+オリヴァー・コフタ=カルレイネン

2009年11月28日[土]—2010年2月28日[日] 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)



MAM プロジェクトは森美術館が世界各国の才能豊かな若手アーティストを応援するプロジェクト・シリーズです。

ヘルシンキを拠点に活動する2人組のアーティスト、テレルヴォ・カルレイネン+オリヴァー・コフタ=カルレイネンは、2005年にイギリスのバーミンガムで「不平の合唱団」を始めました。一般の人びとから集めた不平不満をまとめ、合唱曲に仕立て、街なかの公共空間などで大声で唱うこのプロジェクトは、その後ヘルシンキ、ハンブルグ、ペンシルバニア州、メルボルン、シンガポール、バンクーバー、香港など世界各地で繰り広げられてきました。そしていよいよ「MAMプロジェクト010」展として、アーティストも参加する日本初のオフィシャル「不平の合唱団」がここに結成され、日本語で唱われることとなります。



《不平の合唱団——ヘルシンキ》2006年 Photo: Petri Summanen

テレルヴォとオリヴァーはある冬の日、ヘルシンキ市内を散歩していました。その寒さに不平をもらす自分たちに気づいた彼らは、世の不平不満に向けられた膨大なエネルギーを、その力強さを維持したまま何かポジティブなものへ変換できないかと考えました。フィンランド語には「VALITUSKUORO (ヴァリツスクオロ)」という表現があり、それは多くの人が同時に不平を言う状況を指し、文字通り「不平の合唱団」を意味します。2人は、それを実際の合唱団にしてしまうことを思いついたのです。

世界各地の地元住民による「不平の合唱団」では、ユーモラスな不満やさまざまな憂いにメロディーがつけられ、唯一無二の歌声となる瞬間が生まれてきました。それらは個人的で日常的なものから、グローバル化の進む社会や政治に対する不満まで非常に幅広く、地域固有の課題を知らしめると同時に、全く異なる地域に暮らしている人たちにも共感をもたらし、私たちは文化や人種を越えた人類の感受性や感情の共通性に気づかされます。誰に向かって何を訴えれば良いのかさえも見失いがちなこの時代、「不平の合唱団」はユニークで斬新なコミュニケーションのあり方を提案するアート・プロジェクトとなることでしょう。

なお、合唱参加者は、森美術館のチラシ、ウェブサイトなどを通して「不平」を募集し、応募者の中から合唱参加メンバーが選ばれ、完成した東京版「不平の合唱団」は、実際にパブリックな場所でパフォーマンスを実施するほか、「MAMプロジェクト010」展のビデオ作品として、これまで実施された世界各地の「不平の合唱団」とともに森美術館で上映されます。

主催：森美術館

会場：森美術館 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階

開館時間：10:00—22:00 | 火10:00—17:00 | 12/22(火)と12/29(火)は22:00まで開館

*いずれも入館は閉館時間の30分前まで 会期中無休

入館料：一般1,500円、学生(高校・大学生)1,000円、子供(4歳—中学生)500円

*表示料金は消費税込 *本展のチケットで「医学と芸術展：生命と愛の未来を探る」、展望台 東京シティビューにも入館可(スカイデッキを除く)

*スカイデッキへは別途料金300円がかかります(子供は無料)。

お問い合わせ：Tel: 03-5777-8600 (ハローダイヤル) WWW.MORI.ART.MUSEUM

展覧会カタログ

B5変形版/80頁(日本語・英語併記) ¥1,300 発行：森美術館 販売開始日：2009年11月28日(土)

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、森美術館ウェブサイトにて申請いただけます。

PRESS RELEASE プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報担当：渡邊、田村、岡崎 Tel:03-6406-6111 Fax:03-6406-9351 E-mail:pr@mori.art.museum
Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER